



<https://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和4年10月



水稲をメインに栽培する阿蘇市の中西洋介さん・佳子さん夫妻

13ページに  
「JA阿蘇職員募集要領」

## ■今号16ページ 主な内容

- 令和4年産阿蘇コシヒカリ初検査・出発式
- 生産資材高騰で熊本県と県農政議連に支援拡充求める
- JR熊本駅アミュプラザみもの食堂で「JA阿蘇フェア」
- 〈生産各部会の生育・出荷・総会など〉の情報
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!

全面リニューアルした  
JA阿蘇のホームページに  
アクセスできます!



## ● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

9月17日～19日に九州から本州にかけて上陸した大型で強い台風14号で、組合員や地域の皆様などお怪我や被害に遭われた方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。管内で始まった米の収穫の重要な時期に到来したことに、大変胸を痛めております。被害に遭われ、当組合の共済へご加入頂いておられる方は、各支所へのお問い合わせを頂きます様お願い致します。被害調査及び共済金支払いなど早急な対応を取って参ります。

代表理事組合長 原山 寅雄



2022年産米初検査と安全祈願祭  
全量が1等米で「阿蘇コシヒカリ出発式」



写真右上から=安全祈願祭、橋本検査員による初検査、関係者による「阿蘇コシヒカリ出発式」/写真右下=新米を贈った原山組合長と三村園長

JA阿蘇は9月8日、阿蘇市で生産者・JA職員・検査員など関係者60人が出席して、2022年産米初検査と安全祈願祭、「阿蘇コシヒカリ出発式」を行いました。  
初検査では持ち込まれた544袋、約16tの特別栽培米の阿蘇コシヒカリからサンプルを抜き取って検査。  
生産者代表の中西洋介稲作部会長は挨拶で「今年は大きな被害もなく、生育が順調であった。検査員には適切な

検査を行ってほしい」と述べ、橋本雅貴検査員が新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張り具合を検査しました。検査の結果、全量が1等米となり令和4年産米は順調なスタートを切りました。  
JA阿蘇は予約数量15万3000俵の全量集荷を目指しています。  
出発式では関係者によるテープカットが行われ、新米を載せたトラックをJA職員らが見送り初出荷を祝いました。新米は県内をはじめ、九州一円や関西などに出荷されました。  
また出発式では、阿蘇市の古城保育園の園児に昼食で食べてもらおうと三村史子園長へ新米120kgが贈呈されました。園児からは感謝の言葉を綴ったメッセージ集が原山寅雄組合長に手渡されました。  
原山組合長は「本年の概算金について、昨年に比べ1000円ほど下がる見込みだが、全国と比較すると高い水準だ。コロナ禍の影響で全国的にも米が余っており、美味しい新米をたくさん食べて欲しい」と話していました。

検査を行ってほしい」と述べ、橋本雅貴検査員が新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張り具合を検査しました。検査の結果、全量が1等米となり令和4年産米は順調なスタートを切りました。  
JA阿蘇は予約数量15万3000俵の全量集荷を目指しています。  
出発式では関係者によるテープカットが行われ、新米を載せたトラックをJA職員らが見送り初出荷を祝いました。新米は県内をはじめ、九州一円や関西などに出荷されました。  
また出発式では、阿蘇市の古城保育園の園児に昼食で食べてもらおうと三村史子園長へ新米120kgが贈呈されました。園児からは感謝の言葉を綴ったメッセージ集が原山寅雄組合長に手渡されました。

検査を行ってほしい」と述べ、橋本雅貴検査員が新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張り具合を検査しました。検査の結果、全量が1等米となり令和4年産米は順調なスタートを切りました。  
JA阿蘇は予約数量15万3000俵の全量集荷を目指しています。  
出発式では関係者によるテープカットが行われ、新米を載せたトラックをJA職員らが見送り初出荷を祝いました。新米は県内をはじめ、九州一円や関西などに出荷されました。  
また出発式では、阿蘇市の古城保育園の園児に昼食で食べてもらおうと三村史子園長へ新米120kgが贈呈されました。園児からは感謝の言葉を綴ったメッセージ集が原山寅雄組合長に手渡されました。

検査を行ってほしい」と述べ、橋本雅貴検査員が新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張り具合を検査しました。検査の結果、全量が1等米となり令和4年産米は順調なスタートを切りました。  
JA阿蘇は予約数量15万3000俵の全量集荷を目指しています。  
出発式では関係者によるテープカットが行われ、新米を載せたトラックをJA職員らが見送り初出荷を祝いました。新米は県内をはじめ、九州一円や関西などに出荷されました。  
また出発式では、阿蘇市の古城保育園の園児に昼食で食べてもらおうと三村史子園長へ新米120kgが贈呈されました。園児からは感謝の言葉を綴ったメッセージ集が原山寅雄組合長に手渡されました。





**JAグループ熊本と県農政連  
生産資材の高騰で熊本県と  
県農政議連に支援拡充求める**



JAグループ熊本と熊本県農業者政治連盟（県農政連）は、生産資材の価格高騰が続く中、農業者への支援拡充を求める緊急要請を熊本県と県農政議員連盟に行い、国が積み増しを打ち出している地方創生臨時交付金で、県の農業関連予算を確保するように求めました。

要請書は9月8日に県農林水産部の竹内信義部長へ、同9日に自民党県議でつくる県農政議員連盟の前川収会長

へそれぞれ提出しました。

JA阿蘇の原山寅雄組合長は「以前のBSE（狂牛病）問題などは乗り越えたが、畜産における飼料価格の高騰は農家だけでは到底打開できない。離農を迫られる事態にも繋がり兼ねない。これは全国的な問題とも言える状況であり、行政と国が一体となって継続的な営農ができるよう施策を講じて欲しい」と訴えました。

国が臨時で実施した「肥料価格高騰対策事業」については「基金などを活用した恒久的な取り組みが必要だ」として、国への働きかけを求めました。

また、秋肥の高騰対策で国が値上がり分に対して行う助成に加え、県が独自で15%上乗せする対応について、要請では春肥でも同様の上乗せ補助を求めました。その他『施設園芸セーフティネット構築事業』『配合飼料価格安定制度』では、農業者の積立金に対する助成を求めました。農畜産物の適正な価格形成についても国への働きかけなどを要請しました。

要請を受けて、竹内部長は「熊本県の特性を踏まえ、必要な対策を検討したい」と述べ、前川会長は「高騰対策については、皆さんの意見を聞きながら県と一緒にやっていきたい」と応えました。（写真＝県農政議員連盟の前川収会長へ要請書を提出した原山組合長ら関係者）

**林修先生と学ぶ みんなの食料安全保障**

世界情勢の激変で、日本の「食」のリスクが拡大しています。

日本の食料自給率は、わずか38%※。食料の約6割を、輸入に頼っているのです。そして今、日本の「食」は、ウクライナ情勢という新たなリスクに直面し、世界の食料価格の高騰に、さらに拍車がかかっています。「食料は、安く、いくらでも輸入できる」。そんな時代は、もう過去のものになったと言っても、過言ではないでしょう。

※2021年・カロリーベース



JAグループサポーター  
林修

**日本の「食」と「農」を支え、  
未来につなぐ「国消国産」。**

では、いざという時に食料が不足しないためにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、JAグループは「国消国産」として提唱しています。「国消国産」とは、「国」民が必要として「消」費する食料は、できるだけ、その「国」で「生」産する、ということです。

**適正な価格で「国消国産」を進める。  
それが「みんなの食料安全保障」。**

生産者を支え、日本の「食」を未来につなぐために、私たちもまた意識を変えていくことが求められています。できるだけ国産のものを手に取り、食べることが、私たちにできる「国消国産」の実践であり、日本の生産者を応援することにつながります。それが私たち「みんなにできる食料安全保障」と言えるでしょう。

**生産資材の高騰が続く、日本の農業は  
苦境に立たされています。**

世界情勢の変化は今、農業の現場に、大きな問題をもたらしています。肥料、家畜の餌、燃料などの資材価格の高騰が、経営を直撃しているのです。このままでは農業を続けることが難しいという、生産者の皆さんの深刻な声も聞こえてきます。

**「JAタウン」で旬の農畜産物を 今だけ送料無料で。**

<https://www.ja-town.com/shop/e/ekokusho/>

期間 2022年10月13日から11月末日まで

※既定数に達した場合、早く終了することがあります。



おいしい日本と暮らし  
**JAタウン**



耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ

## 令和6年4月1日「JAくまもと」設立を目指して 『県域JA構想』組合員への説明会を開催



写真は説明会の様子。各地区で開かれた「県域JA構想」組合員への説明会では、組合員の皆さんから多数の意見が述べられた。



JA阿蘇は8月末から、各地区で「県域JA構想」の理解醸成に向けた組合員説明会を開催しました。

現在、県下14JA・連合会・中央会は、農家・組合員の多様なニーズにこれまで以上に応えていくために、令和2年8月から「熊本県域JA構想」の協議を進めており、令和6年4月1日に「JAくまもと」の設立を目指しています。組合員説明会で、現在の検討状況や合併の効果・メリットと課題などへのご理解と、多数頂きましたご意見や要望は生の声として協議に活かしたいと思います。

JAはこれからも「営農とくらし」を支え続ける組織でなければいけません。そのためには、組合員や地域の皆様の負託に応えるために、JAグループが一丸となって取り組むことが必要であり、県域JA合併へのご理解とご協力をお願い致します。

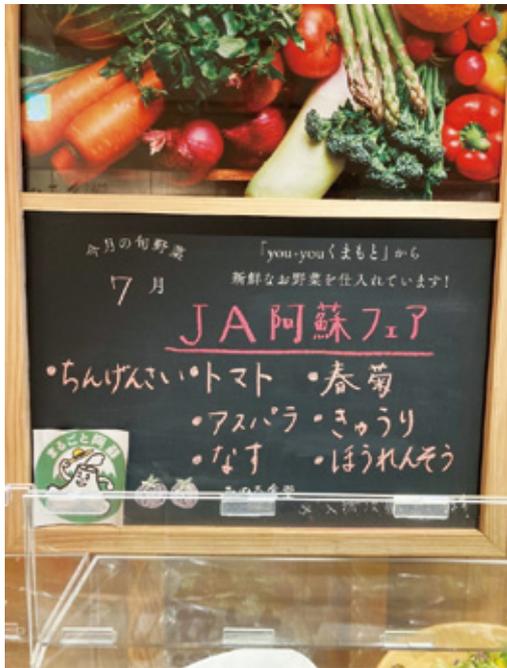


JAグループ熊本のホームページにて県域JA構想についての情報を発信しています。



各種メニューには阿蘇の新鮮で美味しい夏野菜を使用

JR熊本駅アミュプラザ6階  
「みのる食堂熊本店」でJA阿蘇フェア  
阿蘇産の新鮮夏野菜をPR!



みのる食堂店頭「JA阿蘇フェア」手作りPOP

J A阿蘇は7月19日から8月1日  
までJ R熊本駅アミュプラザ6階の  
「みのる食堂熊本店」で開かれた「J  
A阿蘇フェア」（協賛J A熊本経済

連・熊本大同青果）に、阿蘇産の新鮮  
な夏野菜を提供しました。

みのる食堂のサラダビュッフェや特  
別メニューの「まるごと阿蘇定食」に  
は、阿蘇産のチンゲン菜・トマト・春  
菊・アスパラガス・きゅうり・ひごむ  
らさき・ほうれん草・原木しいたけな  
どが使われ、同食堂で客（消費者）に  
実際に食べてもらうことで阿蘇産野菜  
の美味しさを認識してもらい、販売促  
進につなげようとする企画です。

同フェア開催中、原山貞雄組合長も  
みのる食堂を訪れ「阿蘇の新鮮な野菜  
や食材の美味しさを知って欲しい。調  
理された料理は美味しく鮮やかな彩り  
に仕上げられていて、多くの皆さんに  
ぜひ食べて頂き、暑い夏を乗り越えて  
欲しい」と盛んにPRしていました。



→原山組合長も店頭でJ A阿蘇をPR！  
↓フェア開催中大好評だった  
「まるごと阿蘇定食」  
←みのる食堂のサラダビュッフェを  
彩ったJ A阿蘇の新鮮夏野菜！



期間中、食材となるJA阿蘇の新鮮夏野菜を展示





### 第13回 JA 資材店舗 ディスプレイコンテスト県大会 「グリーンなんごう」最優秀賞

J A 阿蘇のグリーンなんごうが「第13回 JA 資材店舗ディスプレイコンテスト熊本県大会」で最優秀賞を受賞し、8月29日 J A 阿蘇本所で表彰式が行われました。

この大会は、J A ならではの店づくりによる組合員満足度向上、ホームセンターや小売店に先じた早期陳列の再徹底による実績拡大、J A オリジナル商品の陳列強化による競合店との差



別化を図ることで、資材店舗の活性化や売れる店づくり強化を目的として開催されています。グリーンなんごうは商品の特徴をイラストや手書き文字で PR し、ポップなどを自作し、利用者に分かりやすいディスプレイを行っていることなどが高く評価されました。今村至店長は「分かりやすさ重視の配置レイアウトで、来店されたお客様にひと目で分かるように工夫した。これからも来店しやすい店舗を目指し、スタッフ全員で協力し更に盛り上げていきたい」と受賞の喜びを語っていました。

写真上＝グリーンなんごうスタッフの皆さん  
写真下＝店舗ディスプレイの様子



JA 阿蘇 × JA でんき 阿蘇地域に在住の方限定!!

JA でんき(九州エリア)を LINE 友だち登録して、「JA でんき」を新規契約された方に抽選で当たる!

阿蘇小国ジャージー

のむヨーグルト セット  
+  
アイスクリーム セット



当選確率  
5人に1人  
当たる!

※写真はイメージです。※期間中に新規契約となった方、皆様が抽選の対象となります。※厳正な抽選の上、当選者を決定し、発送をもって代えさせていただきます。

キャンペーン期間 2022年 9月1日 ~ 2023年 1月31日

まずは LINE 友だち登録

## 生産各部会の生育・出荷・総会などの動き

生産力・販売力強化で功績  
JA阿蘇いちご部会を表彰

表彰を受けたいちご部会の方々

令和3年度いちご部会の総会にあたり、JA阿蘇営農部は8月10日本所で表彰式を行いました。JA表彰の部では、総販売金額の功績を称え4名の方々へ、部会表彰の部では、単位面積当たりの販売金額の功績を称え10名の方々へそれぞれ表彰状と賛辞が贈られました。いちご部会では、これまで生産力と販売力強化に重点的に取り組み、年々実績を伸ばしてきています。

今後所得アップに向け、JAと生産者が一丸となり、より一層連携した取り組みを続けていく方針です。表彰者は次の方々です。(敬称略)  
◇JA表彰の部「総販売金額」大津裕樹・佐藤哲治・園田賢臣・嶋野妙子

「いちご苗質良好!」  
定植に向け花芽検鏡始まる

花芽検鏡の様子(9月1日撮影)

2022年産いちご定植を前に花芽検鏡が8月25日より始まりました。花芽検鏡は、定植から収穫時期を見極めるための大切な作業の一つで、顕微鏡を使用し熟練の技術が必要です。

本年産は夏季が高温で推移し、例年に比べ花芽分化が遅れています。病害虫が少なく苗質良好で9月中旬頃より定植開始が予定されています。管内のいちご生産者数は43戸(前年比105%)、栽培面積12.4ha(同113%)の見込みで、品種割合は、さがほのか16%・ゆうべに23%・恋みのり61%となっており、出荷数量約220万パックを見込んでいます。

## ◇部会表彰の部「単位面積当たり金額」

嶋野妙子・西田満士・志賀謙三・坂梨美津子・本田吉信・佐藤哲治・大津裕樹・田中敏夫・村上美雪・田端伸吉

江藤秀晃指導員は「高温で苗質が心配だったが出来は良好。今後は定植後の管理指導を重点的に行う」と意気込みを語っていました。

2022年産いちごを定植  
出荷開始は10月下旬を予定

定植作業をする農業研修生(撮影9月7日)

JA阿蘇管内では2022年産いちごの定植が、9月3日よりスタートし定植最盛期を迎えています。

9月7日、定植を行っていたいちご部会長の大津裕樹さんは、恋みのりを126aで高設栽培。農業研修生が迅速丁寧な作業で定植をしていました。大津さんは(取材時)「台風の影響もなく無事定植を迎えられた。農業を取り巻く環境は大変厳しいが、逆境に負けず頑張りたい」と抱負を述べて

いました。江藤指導員は「定植後の草勢管理に重点をおき、肥培管理・適期防除指導をしていく」と、今後の留意点を話していました。出荷開始は10月下旬を予定しており、主に関東・関西の地方市場への出荷が重点的に計画されています。

「阿蘇アスパラ」夏芽出荷好調  
最後まで高品質出荷を心掛ける

夏芽の選果をする作業員

JA阿蘇一の宮選果場では(8月23日取材時)、連日アスパラガスの選果作業が行われており、日量4t程が県内及び県外へ出荷されています。出荷量は昨年と同等となっており、病害虫の発生も少なくなっています。2022年産の春芽では、例年になり春先の低温により数量が伸び悩みましたが、夏芽に入り昨年を上回る出荷量で推移しています。品質面では、梅雨明けとともに品質低下が見られた時期もありましたが、生産者一人一人が栽培管理に努力して早い段階での品質

※前ページより続く

回復が came ました。

昨年同様、産地情報を市場担当者へ繋ぎ、出荷市場先ごとに得意とする販売形態の確認・やり取りを通じて、より安定した販売に取り組んでいます。

指導販売担当の橋本健太郎職員は「シーズン終わりでまで高品質のアスパラガス出荷を心掛け、同時に次年度を見据えた販売提案もしていきたい」と

話していました。

来年は生産者の手取りアップを狙った販売展開をしていく計画です。

さらに、生産者に対しては「今からは次年度の春芽を考えて栽培管理を徹底してほしい」と定期的な病害虫防除を呼び掛けている。コロナ禍で管理講習会が開けないため、文書やLINEで定期的に情報発信の予定です。

### 組合員や職員の安全と併せて「コロナの早期収束も祈禱」阿蘇神社で「安全祈願祭」



祈願祭でお祓いを受ける原山寅雄組合長

J A阿蘇は7月1日、阿蘇市一の宮町の阿蘇神社で熊本県労働基準協会阿蘇支部が主催する安全祈願祭へ参加しました。この祈願祭は、7月1日から同7日まで全国的に展開された「全国安全週間」行事の一環として行われました。

当日は、阿蘇管内の各事業所などから代表者15名が参加し、各事業所での安全祈願と、併せて新型コロナウイルス感染症の早期収束に願いを込めて祈禱が行われました。

J A阿蘇では「時間外労働の削減・労災ゼロ」をスローガンとして掲げていますが、原山寅雄組合長は「組合員の皆さんにおかれても、J A阿蘇で働く皆さんの皆さんにおいても、安心して働ける環境づくりが大事。怪我や病気にならないように業務に取り組んで欲しいとお祈りしました」と思いを語りました。

### 地元青壮年部とフレッシュユミズ SDGsの教育活動として「ちやぐりんフェスタ」開催



J A阿蘇青壮年部高森支部と高森フレッシュユミズは8月19日、地元の高森町立高森東学園義務教育学校の児童らに、教育活動の一環として「ちやぐりんフェスタ」を開催しました。コロナ禍で小規模の開催となりましたが、同イベントは10年を超える取り組みとなっています。

今回は持続可能な開発目標（SDGs）に着目した体験型の企画を取り入れ、児童らとたまねぎの皮を使ったハンカチ染めや、着なくなったTシャツを使ったエコバック作りで廃棄される物を再利用しました。

また、SDGsにちなんだ紙芝居やカルタ取りなどをして、遊びを通してSDGsへの理解を深めました。

このSDGs実現に近づく教育を行うことは学習支援としても役立ち、

資源保全にも繋がり、SDGsの4「質の高い教育をみんなに」、11「住み続けられるまちづくりを」にも繋がっています。参加した児童からは「楽しかったので来年も参加したい」との声があがっていました。

J A阿蘇青壮年部担当の園田真治職員は「これまで開催してきたちやぐりんフェスタが、さらに地域の農業や暮らしについての学びの場となるように継続していきたい」と、抱負を語っていました。



SDGsにちなんだカルタ取りや、ハンカチ染め体験をする児童





**JA阿蘇女性部「フレッシュミズ  
阿蘇管内で「斉クリーン作戦」**

JA阿蘇女性部とフレッシュミズ部員らは7月16日、街ごとキレイにしよう和阿蘇管内（一の宮・阿蘇町・小国郷・南阿蘇・高森・蘇陽・西原の7地区）で「斉クリーン作戦」を実施。地域の方を含め約100人が参加しました。

昨年引き続き今回2回目となるクリーン作戦では、女性部員らが一斉に街頭のゴミを回収しました。

道端には、紙片のような小さい物から大きな物まであり、回収したゴミは飲料の缶やペットボトルが多く、ゴミ袋50袋を超え、それらのゴミは、可燃・不燃・ペットボトル・缶などの資源ごみに分別処理しました。

女性部統括の野田ひろみさんは「コロナ禍で心と地域が少しでも明るくなればと考えると、阿蘇郡市全体でクリーン作戦に取り組んだ。女性組織が地域の方と共に活動できた事に意義があり、地域に貢献できて良かった」と笑顔で話していました。



**JA阿蘇中部管内で  
農業用廃棄資材約50tを回収**



JA阿蘇中部管内で8月、不要となった農業用廃棄資材の回収を阿蘇市中部野菜センターで行いました。今回は4日間の回収日に約300軒の農家から農PO・畜産ラップ・灌水チューブ・肥料袋・田植箱など約50tが持ち込まれました。JA職員も持ち込まれた資材の荷下ろしや分別を行うなど、農家と一緒に作業をしました。

回収された廃棄物は資源循環のため4種類に分類。委託業者によって再生処理加工がされ、その大部分は生活用品等へ再利用されます。

持ち込みをした農家は「資材高騰により新規購入が厳しい状況にあり、環境保全のためにも、なるべく資材の使い回しをしていくようにしたい」と話していました。次回の収集は来年2月中旬を予定しています。（写真：回収作業の様子／8月30日撮影）

JA阿蘇では、組合員サービスの充実を図る為、  
業務用携帯電話を導入致しました。

農機具センター 業務用携帯電話番号一覧表

センター名	センター電話番号	担当者名	携帯電話番号
一の宮農機	0967- 22-3855	井野センター長	070-8828-7057
		山部 担当	070-8828-7058
		鳴川 担当	070-8828-7059
		田中 担当	070-8828-7060
阿蘇町農機	0967- 32-3604	長野センター長	070-8828-7061
		伊藤 担当	070-8828-7062
		堀 担当	070-8828-7063
		本田 担当	070-8828-7064
		井 担当	070-8828-7065
		藤川 担当	070-8828-7066
西原農機	096- 279-2223	安岡 担当	070-8828-7067
		森上 担当	
南部農機	0967- 62-0282	佐々木センター長	070-8828-7068
		下村 担当	070-8828-7069
		横田 担当	070-8828-7070
蘇陽農機	0967- 83-0534	田上 担当	070-8828-7071



# 「JA阿蘇きらり★」

海釣り、キャンプにハマってます！  
高森支所南部農機センター係

よこた けんしよう  
**横田 健生**  
(31)



★趣味  
海釣り（アジングルルアーでアジを釣る）と  
キャンプ

★一言コメント

今年の4月に高森へ配属になりました。新しい地域で皆様の力になれるように頑張ります。農機整備の実務は13年目になるので、何かあれば是非ご相談下さい。宜しくお願い致します。

## 「コシヒカリ」はじめ水稲5品種、大豆やWCS(飼料用稲)も栽培

表紙の生産者 中西洋介さん・佳子さん夫妻



阿蘇市山田の水稲生産者、中西洋介さん(48)・佳子さん(47)夫妻は、コシヒカリ・森のくまさんをはじめ水稲5品種を栽培するほか、大豆やWCS(飼料用稲)も含め約64haを耕作しています。また、中西さんは農事組合法人水穂やまだ(構成員4名・従業員3名)の代表をしており、JA阿蘇稲作部会長も兼任しています。

9月から10月中旬まで稲刈り作業を行います。日頃から広大な面積の中でも水田の水管理には気を配り、気候に応じた生育状況の確認をしながら、病害虫等の対策にも対応できるようにしています。(写真左上から=収穫した新米を持つ中西さん夫妻/「農事組合法人水穂やまだ」の従業員。左から中西洋介さん、息子の遼太郎さん、佐藤保さん/ 粳摺り後の出来を確認する中西さん)

### ● JA阿蘇中途採用職員紹介「よろしくお願いたします」●



**河島 隆治**(阿蘇市出身)  
配属先=一の宮中央支所購買課購買係  
(一の宮グリーン)  
趣味=キャンプ  
抱負=職員として農業に関する知識をさらに向上させて、組合員の皆様へ適切な提案が出来るように頑張ります。



**井 喬宏**(山都町出身)  
配属先=一の宮中央支所購買課  
やまなみ給油所係  
趣味=ドライブして美味しいものを巡る  
抱負=自分自身がスキルアップすることで、組合員の方から頼られる職員になって貢献したいと思います。

# JA阿蘇イラスト違い探し「稲刈り」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!

(出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「稲刈り」応募方法

「稲刈り」イラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で6名様に「阿蘇コシヒカリ」約5kg(写真=イメージ)をプレゼントします。応募締め切りは、令和4年11月15日(当日消印有効)です。当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「お化け屋敷」答えとプレゼント当選者8名様



- 藤田佐登美 様 (阿蘇市)
- 興梶みえ子 様 (山都町)
- 小嶋田美子 様 (阿蘇市)
- 甲斐 雪代 様 (南阿蘇村)
- 工藤 咲妃 様 (小国町)
- 穴井 恵子 様 (南小国町)
- 佐藤アキミ 様 (南小国町)
- 穴井チヅ子 様 (南小国町)

=答え=

- ① 提灯おばけの目
- ② 人形の髪の毛の長さ
- ③ お母さんの口
- ④ 木のお札
- ⑤ 井戸のヒビ



ハガキ (表)

〒869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

①  
②  
③  
④  
⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

# 令和5年度 JA阿蘇職員募集

## 高卒(新規学校卒業)第2次募集要領

- 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……10名程度 農業関係技術職……5名程度
- 受験資格 令和5年3月(来春)までに卒業見込みの者。
- 受験手続
  - 提出書類 統一応募書類(全国高等学校統一用紙 その1、その2)
  - 募集締切日……令和4年11月16日(水)必着
  - 応募方法
    - 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
    - 学校を通じて申し込むものとする。
- 試験の日時・場所及び内容
 

【日時】令和4年11月24日(木)午前9時15分から午後2時15分予定(受付:午前8時30分～9時00分)

【場所】阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【内容】基礎能力検査(言語・数理・論理・常識・英語)マーク式 適性検査及び小論文 面接試験
- 採用後の待遇
  - 採用時期 令和5年4月1日(3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります)
  - 給 与 高卒基本給……148,980円～(令和4年度実績)
  - 賞 与 年2回支給
  - 昇 給 年1回
- その他 受験票、筆記用具(鉛筆等)を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

## 高卒(既卒)・専門・短大卒・大卒 募集要領

- 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……10名程度 農業関係技術職……5名程度
- 受験資格 昭和57年4月2日以降出生の者で令和5年3月(来春)までに卒業(見込み)の者。
- 受験手続
  - 提出書類
    - 履歴書(JIS規格)1通(写真付)
    - 写真(3×4・)1枚(履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入)
    - 学校成績証明書
    - 卒業証明書又は卒業見込証明書
  - 募集締切日……令和4年11月16日(水)必着
  - 応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
- 試験の日時・場所及び内容
 

【日時】令和4年11月24日(木)午前9時15分から午後2時15分予定(受付:午前8時30分～9時00分)

【場所】阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【内容】基礎能力検査(言語・数理・論理・常識・英語)マーク式 適性検査及び小論文 面接試験
- 採用後の待遇
  - 採用時期 令和5年4月1日(3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります)
  - 給 与
 

大学卒基本給	……173,330円～(令和4年度実績)
短大・専門卒基本給	……157,880円～(令和4年度実績)
高卒基本給	……148,980円～(令和4年度実績)
  - 賞 与 年2回支給
  - 昇 給 年1回
- その他 受験票、筆記用具(鉛筆等)を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

＝ 応募書類提出及び問い合わせ先 ＝

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5

阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課

電話 0967-22-6111 担当 下田・西村

## 理事会・監事会報告

### ■令和4年度第7回理事会

日時 令和4年8月30日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

7月末実績報告について

- 1) 貸出金について(3件)
- 2) 斎場霊柩車リース取得について(案)
- 3) 育児休業規程等の変更について(案)

報告事項

- 1) 令和4年度米麦等棚卸監査報告書について
- 2) 外部監査・検査の受入について
- 3) 令和4年度上期決算棚卸監査実施要領について
- 4) 第58回農機自動車大展示会実績について
- 5) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- 6) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期報告)について
- 7) 令和4年度上半期決算棚卸休業日について(案)  
(金融・購買・営農)
- 8) 九州地区農協オンラインセンターへの株式有償譲渡について
- 9) 自主検査結果報告について(6月)
- 10) 熊本県域JA構想説明会(組合員向け)について

4. 閉会

### ■令和4年度第8回理事会

日時 令和4年9月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

8月末実績報告について

- 1) 令和5年度JA阿蘇職員募集について(案)
- 2) 事務リスク管理規程の一部改訂について(案)

報告事項

- 1) 総合展示会実施要領について
- 2) アグリイノベーションフェア開催について
- 3) 自主検査結果報告について(7月)
- 4) 「熊本県域JA構想」の検討状況について
- 5) 令和4年度産米概算金決定について

4. 閉会

### ●令和4年度第5回監事会

日時 令和4年8月18日午後1時30分

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和3年度決算監事監査回答書について
- 2) 令和4年度米麦等棚卸監事監査報告書(案)について
- 3) 令和4年度上期決算棚卸監査要領(案)について
- 4) 令和4年度上期決算監事監査日程(案)について
- 5) JAバンク基本方針に基づく農林中央金庫が定める内部管理態勢にかかる「体制整備モニタリング報告」について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告について
- ② 常勤会議等報告について
- ③ 令和4年度監事研修会の出席状況確認について
- ④ 外部監査・検査の受入について
- ⑤ 行事予定について

4. 閉会

### ●令和4年度第6回監事会

日時 令和4年9月22日午後1時30分

場所 本所2階第二会議室

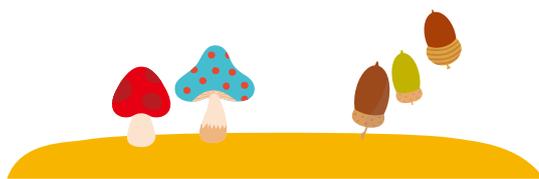
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和4年度米麦等棚卸監査回答書(案)について
- 2) 令和4年度上期決算棚卸監査実施要領並びに手続きについて

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び常勤会議等報告について
- ② 令和4年度みのり監査法人監査計画概要について
- ③ 令和4年度上期決算監事監査補助者について
- ④ 行事予定について

4. 閉会



### ●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ (令和4年9月1日辞令) ●●●

氏名	新辞令	旧辞令
山部 聡輔	営農部中部営農センター農産課農産係長(一の宮ライスセンター)	営農部中部営農センター園芸課指導販売係(産山駐在)
甲斐 章裕	高森支所購買課高森給油所係	蘇陽支所購買課蘇陽給油所係
村上 廉	営農部中部営農センター園芸課指導販売係(産山駐在)	営農部中部営農センター園芸課販売係



第3回 JA阿蘇

# アグリ イノベーション フェア

南部会場

令和4年11月12日(土)・13日(日)

白水ライスセンター(南阿蘇村一関1300)

中・北部会場

令和4年11月19日(土)・20日(日)

中部地区野菜集選果場(阿蘇市小野田74-1)

主催: JA阿蘇 協賛: JA熊本経済連



